はじめに

○ この講座では国公立大学や私立大学の入試で過去に出題された問題をもとに答案を作成し、解説を重ねていきます。

小論文では、大学で学ぶために必要な知識・技能をもっているか、思考力・判断力・表現力があるか、そして学びに向かう力等が備わっているかが評価されます。では、こうした大学の学生としてふさわしい人物像とは一体どういうものか、ここで考えてみることにしましょう。

○ 大学はそもそも研究機関です。

研究とは、世の中でわかっていないこと、答えが複数あるとされていることを学問の力で解き明かすことを指します。したがって、受験では研究するための力があるかどうか、もしくは入学後にそうした力を養えるかどうかが問われます。

○ 教科・科目の試験だけでは大学が求めている力が上手に測れません。

理由はシンプルで、大学での教育と高校での教育が上手に接続していないからです。大学で求められる基礎学力と、高校までで培ってきた学力が必ずしも重なり合わないのです。

○ 大学側が求める基礎学力を測るための方法の一つが「小論文」です。

前述の通り、大学側が求める基礎学力を測るためにはどうするかを考えることになります。その方法の一つが「小論文」です。設問を上手に設定すると、「大学で学ぶために必要な知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」を全て観察することができます。特に、小論文でないと「学びに向かう力」を観ることが難しいということは、ベーシックレベルの講座でお話ししてきました。

○ ハイ&スタンダードレベルの講座では、ベーシックレベルの講座で学んだ力が入試で発揮できるようになることを目指します。

そのためには、設問を適切に読み取り、テーマに対してどういう議論が起こるのかを想定した上で、自分の答案を作成するという一連の流れを体得することが大事です。こうしたトレーニングをしながら、同時に社会や自己に関わる諸問題をテーマにした入試の過去問題を選びましたので、関連する知識を習得していきましょう。

○ 各課題に取り組む際に、常に意識してほしいこと

それは以下の3つです。
①「自分には知らないことがある」と自覚する
②「自分の考えは間違っているかもしれない」と俯瞰（ふかん）する
③「分からないことや間違いに気づいたときに、都度学び、修正する」ことを習慣化する

○ 人は自分の中にあることばで世界を理解しようとします。

ことばが少ないままで世界を眺めると、視野が狭くなり、自分の都合の良い捉え方をするようになります。逆に言えば、ことばが多ければ多いほど広く世界を見つめることができるようになるということです。上記3点を頭の片隅に置き、講座に取り組んでほしいと願います。

○ 思い込みを変化させていくこと

思い込みのことを「パラダイム」といい、新しいことばを手に入れて思い込みに気づき、変化することを「パラダイムシフト」と呼びます。知や常識は刻々と変化するものです。未来を生きるあなたにとって、思い込みを変化させることがとても大事です。そのトレーニングの場として、この講座を活用してほしいと思っています。

では、講座で一緒に未来をつくりにいきましょう。私も応援しています。

神﨑 史彦

Contents

章	講	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	チャプター5
人文科学系	第1講 人文科学系(1) 問いかけるということ	10P－27P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
	第2講 人文科学系(2) 情動への向き合い方	28P－47P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
	第3講 人文科学系(3) 多様性の尊重と困難さ	48P－67P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
	第4講 人文科学系(4) 非認知能力	68P－85P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
	第5講 人文科学系(5) 主体的・対話的で深い学び	86P－107P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
	第6講 人文科学系(6) プログラミング教育	108P－123P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
	第7講 人文科学系(7) 教育現場における性的マイノリティ	124P－145P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
社会科学系	第8講 社会科学系(1) 人が働く意味	146P－163P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
	第9講 社会科学系(2) 市民が担う責任	164P－181P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
	第10講 社会科学系(3) SDGsが持つ問題性	182P－199P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内

Contents

章	講	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	チャプター5	チャプター6
社会科学系	第11講 社会科学系(4) ジェンダー	200P-217P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
	第12講 社会科学系(5) 過疎地域が抱える問題	218P-247P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
	第13講 社会科学系(6) 情報技術と人とのつながり	248P-265P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
	第14講 社会科学系(7) AIと法	266P-287P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
医学・自然科学系	第15講 医学・自然科学系(1) インフォームド・コンセント	288P-307P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
	第16講 医学・自然科学系(2) チーム医療	308P-327P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
	第17講 医学・自然科学系(3) ストレス	328P-345P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
	第18講 医学・自然科学系(4) 受動喫煙	346P-367P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
	第19講 医学・自然科学系(5) 生きがい	368P-385P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
	第20講 医学・自然科学系(6) 死生観	386P-403P	資料読解	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	おわりに

巻末資料①　問題文テーマ・キーワード一覧　p406-407

巻末資料②　小論文ルーブリック　p408-410

本講座の学習の流れ

本講座は、国公立大学や私立大学・学部の過去の入試問題をもとにテキストを構成し、論述問題のみを抜粋しています。また、全ての問題が課題文・資料付、答案例はスタディサプリオリジナルのものになっています。資料読解をもとにした論述のトレーニングに集中できるように配慮しています。

第1講から第7講は人文科学系、第8講から第14講は社会科学系、第15講から第20講は看護医療系学部を主とした自然科学系の小論文演習となっています。なお、大学や問題の難易度で各講の順序を決めているわけではありません。

ご自身が受験する学問領域だけ取り組むという使い方でもかまいませんが、アナロジー（ある問題で取り扱った事柄をもとにして、他の問題で出題された事柄を推し測ること。以前取り扱った問題の構造の類似点に気づき、推論すること）を期待して、全ての問題に取り組むことを勧めます。

この講座は演習を前提にしています。テキストは各講ともに「問題文」「解答欄」「評価表」「答案例」を設けています。解答欄にご自身の答案を書き込んだ後、講座を受講してください。その後、講義の内容を参考にしながら、ご自身で答案を評価をしてみてください。評価したあと、どの点を直すと評価が上がるのかを意識しながら再度書き直してみるとよいでしょう。

テキストにはあなたが考えた内容をまとめる欄がありますので、「授業でこういうテクニックを述べていたけれど、私ならどうするだろう」と思考を巡らせて、頭に浮かんだこと、調べたことを色々と書き記してみてください。それを材料にして他者と対話しながら、小論文を形にすると効果的です。

また、巻末に小論文のルーブリックを掲載しています。これをもとに、あなたの小論文がどの段階にあり、次の段階に進むためには何を修正・補正すればよいのかということを、自分の答案を評価するとき、他者と対話するときに活用してください。

予習

POINT !

- この講座は必ず予習をしてください。
  各講の問題をもとに、答案例を見ずに自力で答案を作成してください。答案が完成したら、ルーブリックを用いて自己評価してみてください。自己評価をするさいに、巻末のルーブリックを参照してください。横軸は評価の観点、縦軸は学習者の到達度を示します。なお、それぞれの評価基準を文章で表現していますが、抽象的に示しています。評価基準の文章と自分の答案を照らし合わせ、まずは「このあたりはできている(できていない)」という評価を自分なりにしてみてください。

受講

POINT !

- チャプターは、以下のパートに分けてつくっています。
  - 資料読解
    該当する講座の資料を読解するさいに押さえてほしいポイントをレクチャーします。
  - 問題およびヒント
    問題を紐解(ひもと)くに当たって必要なヒントを示します。
  - 答案例
    答案例をもとに、よいポイント・修正ポイントを解説します。
  - レベルアップのための読書案内
    取り組んだ問題に関する書籍を紹介します。

  テキストは各講ともに「問題文」「答案欄」「評価表」「答案例」を設けています。答案欄にご自身の答案を書き込んだ後、「資料読解」チャプターを視聴して、内容を理解してください。その後、講義の内容を参考にしながら、ご自身で答案の自己評価をしてみてください。そして「問題およびヒント」を視聴したうえで、ご自身の答案との方向性のズレや合致点を探ってみます。自己評価したあと、どの点を直すと評価が上がるのかを意識しながら再度書き直してみるとよいでしょう。

受講後/復習

POINT !

- ルーブリックをもとに、次のレベルに到達するにはどういうことをする必要があるのかを考え、答案を修正してください。目安として、すべての項目がB評価以上になるように頑張ってみてください。
- そして「答案例」の解説をもとに、「自分の答案にその内容を取り込むとしたら、どうすればよいのだろうか」などと考えて、自分の答案を修正してみてください。

復習後

POINT !

- 作成した答案やルーブリックでの評価をもとに、学校の先生方などの指導を受けてみてください。そのさい、どういうところが気になるのか、修正しようとしているのか、その理由はなぜか、ということを共有できるように準備しておきましょう。そのうえで、さらに修正を施しましょう。
- 出題した設問についての周辺知識を増やしたり、もっと理解を深めるために「レベルアップのための読書案内」で紹介した書籍を読んでみましょう。文章の難易度は色々ありますが、どれもお勧めの本ですので、ぜひ手に入れてみてください。

入試直前

POINT !

- 作成した答案やテキストにまとめた内容を復習するのはもちろん,「資料読解(チャプター1)」のみ,もしくは「問題およびヒント(チャプター2)」のみを視聴することも効果的です。
- さまざまな知識を一気に獲得したい場合は,「資料読解」を読み通すか,チャプター1を順に視聴してください。トップレベル小論文のチャプター1を並行して視聴すると,小論文のための素材をより多く手に入れることができます。
- 答案の作成の流れを振り返る場合は,チャプター2を順に視聴してください。
- よくある答案のミスを確認したい場合は,チャプター3および4を順に視聴してください。

小論文講座　受講の流れ

ベーシック／ハイ&スタンダード／トップレベルの講座で取り扱うテーマは重複しません。全ての講座を受講すると、関連する知識を多く得られます。また、ハイ&スタンダード／トップレベルの講座は「社会科学（法・政治・社会・経済・経営等）」「人文科学（文・人類・教育等）」「自然科学（理・工等）」「医歯薬看護医療系」と分野を分けていますので、志望する学部に合わせて選べます。

文章の記述や小論文の基礎を学びたい場合、受講推奨	ベーシックレベル 小論文	小論文と作文はどう違うか、という基本的な事項から、原稿用紙の使い方、段落構成、出題形式別の対処法を学びます。また、持っている知識をもとに思考する方法も習得します。600字程度の小論文を書くことができることを目標にしています。
↓		
過去問に取り組む前の入試対策を学びたい場合、志望校のレベルに応じて選択	高3 ハイ&スタンダードレベル 小論文	地方国公立大学およびGMARCH・関関同立レベルの大学入試の過去問をもとに、社会科学・人文科学・自然科学・医歯薬看護医療系の頻出テーマの演習および知識習得を目指します。800字程度の小論文を書くことができることを目標にしています。
	高3 トップレベル 小論文	旧帝大および早慶上智・関関同立レベルの大学入試の過去問をもとに、社会科学・人文科学・自然科学・医歯薬看護医療系の頻出テーマの演習および知識習得を目指します。1200字程度の小論文を書くことができることを目標にしています。

第1講

人文科学系(1)

問いかけるということ

チャプター1

資料読解

生徒メモ欄

1　私たちはとかく自分がしゃべることに一生懸命になる「自分が話す文化」のなかにいるので，相手に質問するのが上手ではない。ましてや謙虚な姿勢で聞くとなると，特に難しい。そもそも，自分が話すことの，いったいどこがそんなに悪いというのか。

2　この問いに端的に答えるには，社会学的な視点が役に立つ。社会学的に見ると，質問せずに一方的に話すことは，相手を上から見下ろすような格好になるのだ。つまり，「あなたはこのことを知っているべきですが，まだご存じないでしょうから教えてあげましょう」というのを言外に含んで示唆しているに等しい。

3　こちらが聞いてもいないことを相手が話し始めたとき，私はそのことをすでに知っている場合が多いので，「なぜこの人は私が知らないという前提で話しているのだろう」と思うことがある。すでに自分も知っている，あるいは検討済みのことを相手に言われてしまうと，私は少なくともイライラするし，それがあまりにもひどいと不愉快になる。たとえ相手が「ほんのご参考程度に聞いていただければいいんです。もしかしたら，まだ検討していらっしゃらないかもしれないと思ったものですから」などと言葉を補ってみたところで，それはあまり助けにもならないし，説得力もない。

4　一方で，質問するという行為は会話の相手に力を与えると同時に一時的に私を弱い立場に置くことになる。私が知りたかったこと，あるいは知る必要があることについて，相手はなんらかの情報を持っているのだということが示唆されるからだ。つまり，その人が会話の方向付けをおこなうこ

とになるので，私のことを助けることもできれば傷つけることもできる。まさしくこのような状況が，人間関係を築くための扉を開けてくれるのだ。

5　これから先，特にその人と話したり付き合ったりする必要がないのであれば，自分が一方的に話すスタイルでも構わない。だが，その人とより良いコミュニケーションをとり良好な関係を築きたいのであれば，相手に質問せずに自分ばかり話していると，大きなリスクを背負うことになる。

6　付き合いが深まるような会話は，社会学的な観点から両者にとって公平で，バランスが取れていなければならない。その人と良い関係を築きたいと思うなら，「自分は投資しているのだ」と考えるところから始めなければならない。「謙虚に問いかける」とは注意深く気を配るということだから，まさに先行投資なのである。こちらから問いかけると，相手には次のようなメッセージが伝わる。

7　「あなたの言うことに耳を傾けます。会話の主導権を握っているのは，あなたです」

8　それによって，知らなかったことや求めていた情報が手に入るのであれば，投資に対するリターンを享受できる。新しい発見があれば，それ自体がありがたい。まさに，質問したからこそ教えてもらえたという連鎖的な流れを繰り返すことによって，相手との関係が発展し始めるのだ。

9　主導権を相手に渡し，むこうも私を無視したわけでも利用したわけでもないので，こちら側には「信頼」が生まれる。同様に，むこうも私を信用する。こちらが相手に関心を示し，注意深く話を聞いてあげたのだから。つまり信頼関係を築くことのできる会話とは，両者が投資をおこない，その代償として価値のあるなにかを受けとる相互作用なのだ。

10　ここまで述べてきたことは，あくまでも適切なマナーや礼儀として文化的に許容されている範囲内で起こる。なにがその場にふさわしい質問や発言かを決める文化的な許容範囲をそれぞれが認識していて，その認識によって導かれる連鎖的な流れのなかで，私たちは互いに気を配ったり情報を交換したりするのだ。

11　ところが，こうした連鎖的な流れは当たり前のようには発生しない。それはなぜだろう。質問の仕方なんて誰でも心得ているはずなのに。確かに，私たちは相手に尋ねる方法は知っている。しかし自分では質問をしているつもりでも，それは単に言葉づかいが変わっただけで，結局は自分が言いたいことを質問の形式に置きかえただけか，あるいは自

生徒メモ欄

生徒メモ欄

分が正しいことを確かめるために相手に聞いているにすぎない場合が多い。しかし,自分ではそのことに気づいていないのだ。

⑫　私たちは,相手に聞くことよりも自分が話すことを偏重するきらいがある。実用を重んじ,合理的に問題を解決しようとする社会では,知識を得ることと,自分が知っていることを人に話すことに価値が置かれているからだ。また,われわれの構造化された社会では,人間関係を築くことよりも課題を遂行することのほうが重要だと考えられている。こうした社会では質問はもっぱら部下がすべきことであり,上司は問いかけるよりも話す役割を担うことが期待されているのだ。そもそも,人に聞くなんて自分の無知や弱い部分をさらすようなものだと考える風潮がある。だから私たちは,できるだけその行為を避けようとする。

⑬　ところが,むしろ問いかけることを心がけたほうが着実に良い結果を生むということが,多くの証言によって明らかになってきた。しかも,とりわけ上司が「謙虚に問いかける」を実践して円滑な人間関係を構築すると,特にその傾向が顕著になるのだ。相手を尊重する質問をすれば,「あなたの話に関心を持っています」という印象を与え,真摯に耳を傾けるというサインを送ることができるので,そのことが相手にも力を与える。この時点においては一方が他方を頼っていることを示唆しているので,今ここで必要な謙虚さという種類の謙虚さが示されている。

(エドガー・H・シャイン著　金井壽宏監訳　原賀真紀子訳『問いかける技術』)
[原典] Humble Inquiry by Edgar H. Schein Copyright (c) 2013 by Edgar H. Schein Japanese digital reprint arranged with Berrett Koehler Publishers, Inc., Oakland through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

(熊本大学　文学部　2021)

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

「謙虚に問いかける」ことの筆者の見解を説明し，それを踏まえて謙虚に問いかけることの利点をあなた自身の経験を具体例として挙げながら800字以内の日本語で述べなさい。

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

500

600

700

800

(　　　　　字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下の表を用いて自己評価をしてみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　筆者は、「謙虚に問いかける」事は相手と良好なコミュニケーションをとり、円滑な人間関係を構築する事を可能にするとしている。相手と信頼関係を築くためには両者にとって公平な会話をする事が重要である。

　「謙虚に問いかける」事で会話の主導権を相手に渡し、その相手が質問に答えて価値のある情報を提供してくるという連鎖的な流れを繰り返す事により相手との関係が発展すると文章中では述べられている。

　私の経験則では、「謙虚に問いかける」事の利点の一つは、自分の好意や悪意の無さを相手に伝えられる事だと考える。例えば、私たちは好きな人を目の前にすると、「相手に魅力的に思われたい」という思いから自分の経験や能力について一方的に話してしまうきらいがある。しかし、そもそも相手が私について知りたくなければ、その行為は鬱陶しいと思われ、うまくいかない事がほとんどだろう。一方的に自分の事を話すという行為には、「私はあなたの事が好きなのだから、もっと私について知ってほしい」と相手を支配するような傲慢な気持ちが隠れている。自分が語るのではなく、謙虚に問いかけて相手に語らせる事で「あなたの事をもっと知りたい。私はあなたの敵ではない」という気持ちが伝わるだろう。

　また、もう一つの利点として、相手に自分の話を聞いてもらえる事が挙げられる。私は両親から、勉強したのか聞かれると、耳を塞

ぎたくなる。この問いかけは両親が言いたい事を質問の形式に置き換えただけであり、謙虚な問いかけとは性質が異なるものだ。私が今やりたい事や学生生活に望む事を丁寧に聞いてくれたら、私の方も両親に応えたいという気持ちになる。相手に問いかける事は自分の発言に耳を傾けてもらうための投資であり、これは一つめの事例にもつながる。いずれにせよ、良好な人間関係を築くためには「謙虚に問いかける」事が重要である。

(795字)

生徒メモ欄

教員記入欄

評価してみよう

答案例①を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　私たちは「自分が話す文化」の中にいるので謙虚な姿勢で聞くことが難しく、相手に質問せずに自分ばかり話していると大きなリスクを背負うことになる。相手と良い関係を築きたいと思うなら、注意深く気を配り「あなたの話に関心を持っています」という印象を与えることが重要だ。こちらから相手を尊重する質問をすることが先行投資となり、結果として自分が知らなかったことや求めていた情報が手に入るという相互作用が生まれるということが、筆者の「謙虚に問いかけること」の見解である。

　私は友人と会話が途切れることが怖く、自分の話題や意味の無い内容を焦って話すことが多い。しかしそれはとても疲れる行為で、虚しい気持ちになることがある。今回この文章を読んで、謙虚に問いかけることで人間関係が良好になることを知り、今度から相手の話を注意深く聞くことにしようと思った。そして、友人のことをもっと知り、私も仲良くなりたいと思っていることが伝わると、私にとって大きな利点になると思う。

　私には寝たきりの祖母がいて、時々お見舞いに行く。すると、祖母は以前話した内容を忘れて何度も同じことを質問してくるので、私は煩わしく思っていた。しかしある時、祖母が得意だった手芸について教えてもらおうと思い色々と質問をすると、うれしそうに答えてくれて、その日は祖母との会話に充実感を覚えた。意図的に謙虚に問いかけてはいな

いが、たくさん質問をすることで祖母の話す内容に興味を持っていることが伝わり、私も知らなかった情報を得ることができ、お互いに良い時間を過ごすことができたのだと思う。

謙虚に問いかけることの利点は、新しい情報を得ることだけではなく、その会話が充実しお互いに満足した気持ちを得ることだと考える。　しかし、問いかける内容が的外れではお互いの関係が良好にならないので、注意する必要があると思う。

(789字)

生徒メモ欄

教員記入欄

評価してみよう

答案例②を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことを元に、さらにブラッシュアップするためのおすすめの書籍情報を知り、その書籍の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄